

圧着工具取扱説明書

1. 各部の名称

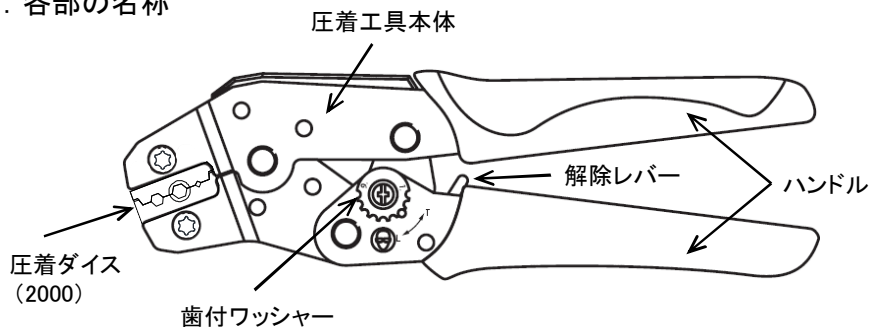


図1 圧着工具各部の名称

2. 圧着ダイス

図2のように2種の外径のスリーブと中心コンタクトを圧着できます。六角(対辺)サイズは、下側に記載されている通りです。(上側は外径)

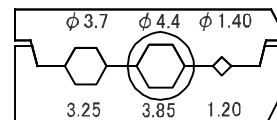


図2 圧着ダイス表面刻印

3. 圧着方法

弊社コネクタの圧着は、弊社で準備しております結線図に記載された手順に従って作業して下さい。(結線図には端末処理寸法、使用する六角サイズなどを記載してあります。)

◇中心コンタクト圧着時の注意点(参考)

- ・圧着ダイスの表面(図2の面[ハンドルを持った時の左側])を使用し、図3のようにケーブルの中心導体に差し込んだ中心コンタクトの根本を圧着して下さい。(図は説明用で、本ダイスでは対応しておりません)
- ※圧着作業を確実にを行うために、解除レバーが外れた後も2秒程度ハンドルを握ったままにして下さい。
- ※確実に圧着が行われているか中心コンタクトを引張って確認して下さい。

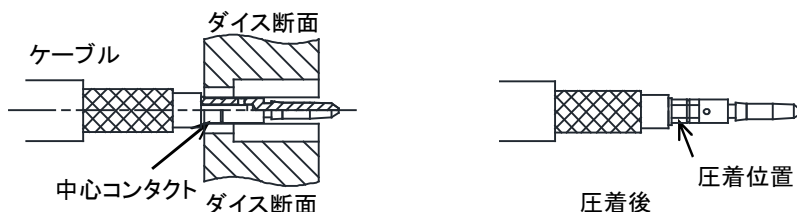


図3 中心コンタクトの圧着

◇スリーブ(1.5Dケーブル; φ4.4)圧着時の注意点

- ・圧着ダイスの裏面(刻印のない面[ハンドルを持った時の右側])を使用し、図4のようにスリーブのコネクタ本体側を圧着して下さい。(図は参考としてSMAコネクタを記載しております)
- ※圧着作業を確実にを行うために、解除レバーが外れた後も2秒程度ハンドルを握ったままにして下さい。
- ※圧着後、スリーブに割れ、ヒビ、メッキ剥がれ等がないか確認して下さい。
- ※確実に圧着が行われているかケーブルを引張って確認して下さい。

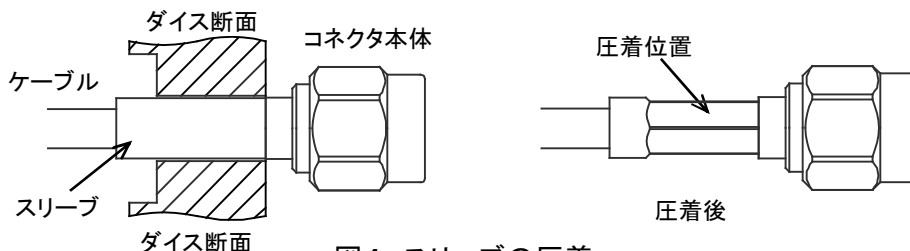


図4 スリーブの圧着

※圧着の途中で圧着工具を外したい場合には、ハンドルを軽く握りながら解除レバーを工具先端方向(図1の左側)へ押しとハンドルが開いて工具が緩みます。

4. 保守管理

- ・定期的に工具の軸や可動部に適量の油をさして下さい。
 - ・圧着強度が弱くなりましたら、以下の方法で工具を調整して下さい。
- (1) 解除レバーを工具先端方向(図1の左側)へ押し、ハンドルを開いた状態で、歯付ワッシャーを固定しているトルクスネジ(T10)を外し、ワッシャーと歯付ワッシャーを外します。この際、ピンが歯付ワッシャーの何段目になっているか記憶しておいて下さい。
 - (2) 歯付ワッシャーが付いていた軸を左回り(T側)に回して、ピンが歯付ワッシャーの1段または2段数字が大きい方となるように調整し、ワッシャーを取付けトルクスネジで固定して下さい。ハンドルを握り正常に動作することを確認して下さい。

アルミック電機株式会社

〒352-0011 埼玉県新座市野火止4-19-71
Tel:048-456-6651(代) Fax:045-456-6652
URL:http://www.almic.net